

行政監視委員会

委員一覧（30名）

委員長	加藤	修一（公明）	長谷川	憲正（民主）	佐藤	正久（自民）
理事	足立	信也（民主）	林	久美子（民主）	坂本	由紀子（自民）
理事	島田	智哉子（民主）	平山	幸司（民主）	田中	直紀（自民）
理事	徳永	久志（民主）	福山	哲郎（民主）	中川	雅治（自民）
理事	岸	信夫（自民）	松岡	徹（民主）	中山	恭子（自民）
理事	浮島	とも子（公明）	水戸	将史（民主）	古川	俊治（自民）
	家西	悟（民主）	柳田	稔（民主）	水落	敏栄（自民）
	岩本	司（民主）	渡辺	秀央（民主）	森	まさこ（自民）
	田名部	匡省（民主）	石井	準一（自民）	山下	芳生（共産）
	千葉	景子（民主）	加治屋	義人（自民）	近藤	正道（社民）

（20.2.13 現在）

（1）審議概観

第169回国会において、本委員会は、「地球温暖化問題等に関する件」をテーマに調査を行ったほか、政策評価の現状等についても調査を行った。

なお、今国会においては、不適正行政による具体的権利・利益の侵害の救済を求めることを内容とする苦情請願は、付託されなかった。

〔国政調査等〕

2月13日、地球温暖化問題等に関する件について鴨下環境大臣、甘利経済産業大臣、町村内閣官房長官、岸田国務大臣、岩永農林水産副大臣、桜井環境副大臣、新藤経済産業副大臣、小池外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

質疑では、バイオ燃料に関する実証試験の展開状況と総事業費、宮古島バイオ・エタノール・アイランド構想の現状と評価、ダボス会議で我が国の総量削減目標数値に言及がなかった理由、2050年までに温室効果ガスを半減とした衆院予算委での首相発言の趣旨、2020年のピークアウトに向けた中期的な目標

数値を設定することの必要性、バイオ・エタノールの開発・普及についての基本的考え方、技術開発を国際的共同プロジェクトとして推進する必要性と日本のリーダーシップ、中国製ギョーザ中毒事件への対応と今後の消費者行政推進への政府の取組、地球温暖化が日本の農林水産業に及ぼす影響とその対策、温室効果ガス排出量削減のための国民意識の喚起のための具体策、国内排出量取引導入見送りの経緯と導入が我が国経済に与える影響、経済界の削減目標達成の義務化及び電事連の削減目標明確化の必要性、産業部門における自主行動計画設定目標の透明性の確保などが取り上げられた。

2月25日、地球温暖化問題等に関する件について参考人京都大学公共政策大学院准教授諸富徹君、気候ネットワーク代表・弁護士浅岡美恵君及びノンフィクション作家山根一真君から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

質疑では、我が国の総量削減目標の設定についての見解、自治体による地域実行計画等の推進のための国の方策、オークション方

式による排出枠配分の在り方、排出量取引制度と環境税を組み合わせる「ポリシー・ミックス」に関する見解、主要排出国に対し国別総量削減目標数値の設定を促す方策、世界の森林資源保護のための我が国の役割、排出権取引が投機の対象となる懸念、温暖化対策を推進していく上での政治やメディアの役割、政府と産業界間のCO₂排出削減協定締結手法の是非、ダボス会議における我が国の首相発言に対する評価、排出権取引と環境税のポリシー・ミックス、日本の省エネ技術を世界の国々の温暖化対策に生かすための国のサポートの必要性などが取り上げられた。

5月14日、行政評価等プログラムに関する件、政策評価の現状等に関する件及び行政評価・監視活動実績の概要に関する件について増田総務大臣から説明を、政府参考人から補足説明を聞いたほか、PFI事業に関する政策の概要等について大田内閣府特命担当大臣(経済財政政策)から、自然再生の推進に関する政策の概要等について桜井環境副大臣、若林農林水産大臣及び冬柴国土交通大臣から、政府開発援助に対する検査状況に関する件について伏屋会計検査院長から、行政改革の実施状況に関する件について渡辺国務大臣から、それぞれ説明を聞いた。

6月2日、行政評価等プログラムに関する件、政策評価の現状に関する件、行政評価・監視活動実績の概要に関する件、政府開発援助に対する検査状況に関する件及び行政改革の実施状況に関する件について増田総務大臣、大田内閣府特命担当大臣、鳩山法務大臣、高村外務大臣、鴨下環境大臣、舩添厚生労働大臣、甘利経済産業大臣、木村外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

質疑では、政策評価における客観性担保のための方策、病院PFI事業の推進・育成の必要性、公立病院改革ガイドラインにおける病院PFI事業の位置付け、地方財政健全化法におけるPFIの取扱い、登記特別会計の設置理由及び改革の現状、登記情報システムに係る契約状況及び経費の妥当性、オンライン登記申請の利用促進方策、代理納付された登録免許税の還付の在り方、総務省の勧告を受けた各府省の対応状況、廃棄アスベストに係る国内における適正処理の確保、アスベスト除去に対する地方公共団体の補助制度の創設が低調な理由、市場化テスト及び指定管理者制度の在り方、在外邦人に対する鳥インフルエンザ対策の現状と今後の取組、日本人学校の耐震化の現状と今後の耐震化対策、防衛や国民保護、危機管理の観点からの社会資本整備の必要性、第4回アフリカ開発会議の評価並びにG8外相会合及び洞爺湖サミットに向けた対応方針、ODA政策に対し本院ODA特別委員会決議を反映させる必要性、寝屋川市の廃プラスチック処理工場付近住民からの健康被害の訴えへの国の対応、太陽光発電システムの普及促進方策などが取り上げられた。

(2) 委員会経過

平成20年2月13日(水)(第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する調査を行うことを決定した。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 地球温暖化問題等に関する件について鴨下環境大臣、甘利経済産業大臣、町村内閣官房長官、岸田国務大臣、岩永農林水産副大臣、桜井環境副大臣、新藤経済産業副大臣、小池外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

水戸将史君(民主) 福山哲郎君(民主)
中川雅治君(自民) 森まさこ君(自民)
浮島とも子君(公明) 山下芳生君(共産)
近藤正道君(社民)

平成20年2月25日(月)(第2回)

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 地球温暖化問題等に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

京都大学公共政策大学院准教授 諸富徹君
気候ネットワーク代表
弁護士 浅岡美恵君
ノンフィクション作家 山根一真君

〔質疑者〕

島田智哉子君(民主) 古川俊治君(自民)
浮島とも子君(公明) 山下芳生君(共産)
近藤正道君(社民) 轟木利治君(民主)

平成20年5月14日(水)(第3回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 行政評価等プログラムに関する件、政策評価の現状に関する件及び行政評価・監視活動実績の概要に関する件について増田総務大臣、大田内閣府特命担当大臣、若林農林水産大臣、冬柴国土交通大臣及び桜井環境副大臣から説明を、政府参考人から補足説明を聴き、政府開発援助に対する検査状況に関する件について伏屋会計検査院長から説明を聴き、行政改

革の実施状況に関する件について渡辺国務大臣から説明を聴いた。

平成20年6月2日(月)(第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 行政評価等プログラムに関する件、政策評価の現状に関する件、行政評価・監視活動実績の概要に関する件、政府開発援助に対する検査状況に関する件及び行政改革の実施状況に関する件について増田総務大臣、大田内閣府特命担当大臣、鳩山法務大臣、高村外務大臣、鴨下環境大臣、舛添厚生労働大臣、甘利経済産業大臣、木村外務副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

徳永久志君(民主) 水戸将史君(民主)
石井準一君(自民) 佐藤正久君(自民)
浮島とも子君(公明) 山下芳生君(共産)
近藤正道君(社民)

平成20年6月20日(金)(第5回)

- 行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

